

～かしわジモト Project～

△ア ◇ー △ト で ○ハ ○ー ○ト をつなごう！

★**Stop the AIDS Campaign**★

ジモト柏・若者の街から

世界エイズデーキャンペーン

2008

活動報告集

グループ^{セック}S^EC

Sexuality Education in Community

(地域で‘性共育’をつくる会)

平成 21 年 2 月

Stop the AIDS Campaign with Youth



~~~~カレシとカノジョに必要なこと~~~~

自分と自分の愛する人の心と体を大切にしてほしい！

だから、エイズについて一人でも多く関心をもってほしい！

日本では今1日約4人が新たに感染…残念ながら過去最高  
先進国の中で唯一新規感染者が増えている…しかも20代30  
代の若者たちに！ HIV(エイズウイルス)感染原因の多くは  
SEXで、誰にでも感染の可能性はある。無知のままではもう  
愛は守れない。★ジモト柏・若者の街から 世界エイズデー キャンペーン



## 活動報告

### グループSEC

#### 《1》 事業課題

6年前の成人式に、若者達にぜひ呼びかけよう！と柏でエイズ予防啓発キャンペーンを開始。その後若者の集まる柏駅前ダブルデッキなどで、毎年世界エイズデー前後に街頭キャンペーンを続けてきた。前年度末にはアフリカで活躍し、音楽やミュージックビデオの力をかりてエイズ予防啓発に貢献した青年山田耕平氏の講演会も主催した。しかし、日本社会全体が無関心な中、広めていくことが難しい課題であった。協力者も医療福祉関係者が多く、一般市民の関心や参加にはつながらない…。

そこで、新宿・渋谷・横浜などの大都市で行われている若者向け世界エイズデーコンサートのようなイベントをストリートミュージシャンを推進している‘柏の街’で実現できればと思ったのが切っ掛けでこの Project に参加。他団体ともつながれるという「プラットフォーム事業」に期待して、まちづくり関係者や参加団体との連携や協力を呼びかけたが、それぞれの活動に忙しい状況のなかで、短期間に相互理解していくのは難しかった。ゼロからの出発だったため、イベントの企画・交渉・準備に想像以上に動き回らねばならなかった。当初目論んだ「若者会議」…若者自身が企画運営をするという動きには至らず、街に若者は溢れていても彼らと連携する難しさを感じた。しかし、毎月行われる Project Team 会議で情報を得ながら、若者たちの路上ライブやミュージックライン、街」おこしをかけた音街かしわ野外ライブのようなイベントとドッキングしはじめると…エイズフォーラムやストップ エイズ・キャンペーンの展開の場や協力者とのつながりができていった。

HIV/AIDS というハードルの高い課題を若者や一般の人たちにどう伝えるかという試みにとって、今までにない展望が開けるのではないか。

今回は、まちづくり関係者や音楽関係者や他団体とのネットワークの手掛かりが掴めたように思う。

#### 《2》 事業概要

##### ●エイズ文化フォーラム(1)

9月14日 15:00～18:00 柏市民活動センター 会議室

「なぜ、いま、HIV/AIDS なのか？」講演 桜屋伝衛門氏(PLWHA)

講話のあと若者達とフリートーク

(タイムリミットでアーティストックなSECのパフォーマンスが出来ず残念！)

\* 事後交流会の参加者まで含めて25名参加

##### ●ストップ エイズ メッセージ ポスターづくり ワークショップ

9月23日 10:00～15:00 中央公民館 創作室

市民や子どもたちとエイズの知識を深めながら、ポスター自由工作



●音街かしわ野外ライブにてパフォーマンスガーデン(中間発表会)

10月5日 10:00~18:00 大堀川防災公園

ブースにてストップ・エイズ ポスター展示 県の街頭検査のお知らせ  
スタンプラリーで回って来る観客にパンフやグッズでエイズ予防啓発!  
若者たちにはコンドーム配布 ← 協力:JEX, JFPA

野外ライブに出演中のバンドとコラボ成立! ← 11/1にレッドリボンライブ

●ジモト柏・若者の街から世界エイズデーキャンペーン

JAZZ & TALK LIVE with RED RIBBON / エイズ文化フォーラム(2)

11月1日 13:00~15:30 スタジオWUU

- ・JAZZ combo(トリオ)の演奏とトーク(瀬戸氏)
- ・パトリック(PLWHA)のメッセージ・トーク
- ・エイズの基礎知識講座(グループSEC)

●リメイク・ファッションショー(イトウセイホーgroup 主催)にて

2月22日 12:00~16:00 ハウディモール

ブースで活動報告写真展、歩行者天国でパンフほか配布

ステージでKJP 活動アピールとエイズキャンペーン パフォーマンス♪

### 《3》協力団体など

- Act Against Aids 大型パネル(8枚組)1セット、エイズの知識小冊子 100冊 提供
- エイズ予防財団 HIV 検査普及週間ポスターほかキャンペーンポスター 10枚、「HIV/AIDS と共に生きる」パンフ1000部
- 柏市医師会 「ミレニアム」1000部
- 性の健康財団 「コンドーム手帳」50部
- 柏保健所 HIV抗体検査日程表 500部、ティッシュなど 1000個
- 千葉県健康福祉課疾病対策室 エイズ予防啓発リーフレット 1500部、世界エイズデー終日街頭検査お知らせ、ボールペンなど配布物多数

### 《4》事業成果

今回(かしわジモト Project)で取り組んだ世界エイズデーキャンペーンは、いつも中心になっていた保健所が千葉県から柏市に移管されたため、組織内の調整がつかず、市民活動団体のグループSECが一人で頑張ってる! という構図になってしまった。しかし、市も県も陰ながらずっと支援して下さったり、医師会からもイベントのたびに駆けつけて下さる先生が現れ、感激! また、最初のエイズフォーラムからずっと参加を続けてくれた若者や柏で音楽活動をしているミュージシャンが、しっかりとエイズキャンペーン活動のミッションを理解したうえで演奏協力してくださったことにとっても感謝している。その点では、規模云々より中身の濃い充実した活動が展開していったと思う。半年あまりの事業では、まだまだ柏の若者たちへの影響力は微々たるもの。、事業の効果や成果は未知数だが、今後ネットワークの広がりによっては、市民活動だからこそできる色々な手法を用いて、伝えるべき大事なことは伝え続けなくてはならないと思う。



9月14日(日) エイズ文化フォーラム【1】 会場：柏市民活動センター会議室

**なぜ、いま、HIV/AIDSなのか？**

講師：桜屋伝衛門氏

《テーマ》Living Together

先進国日本で、いま、4人／日のHIV感染者が出ている。若者(10,20代)への広がりも気になるところ。HIV/AIDSの現状を10代初めに血液製剤を通じてキャリアになり、自らの人生の中でこの問題に向かい合ってきた桜屋氏のお話を聴く。

～ フロアトークで若者たちとディスカッション ～

どんなメッセージが若者の心に届くか？ひとりひとりのできることは何か？



【若者たちの意見】・桜屋さんの「HIVは人生観が変わる病気」という言葉を聞き、もっときちんとした知識や性についてのマナー、保健所で無料・匿名の検査が受けられるという情報を押さえておくことが必要だと実感。

・エイズって分かったらコワイと思って検査に行かない人に、なっても今はいい治療薬あるし、働きながら生きていけるよ！って伝えたい。現在では性交渉での感染が多いが、防ぐことは可能だから女性もパートナーとちゃんと話し合えることが大事！ ・伝えるべき大人が子どもたちにしっかりと伝えること！！





9月23日(火・祝) 中央公民館 創作室

Stop the AIDS メッセージ ポスターづくり

☆☆☆ ワーク ショップ ☆☆☆

テーマは《Living Together》  
HIV/AIDS の知識はみんなにつながり、支え合うため！ステキなポスターで呼び掛けよう！

思い思いのメッセージを心をこめて描く・・・かたちができて色をのせて、どんどん集中していく充実した楽しい時間。いろいろな話題がでて、楽しみながら、今回もいい学び合いになりました！



ほら、ほら、見て！  
それぞれステキなポスターができてきましたよ！

街頭キャンペーンでたくさん活躍しました！！



10月5日(日) 大堀川防災公園

## 音街かしわ野外ライブの会場にて

### パフォーマンス・ガーデン開催

KJP 参加団体が各ブースで活動紹介をしたり、お店やゲームコーナーを開いたり・・・バンドの音楽も公園中に鳴り響いて、野外ライブ目当ての観客がどんどん集まって来た。グループSECのブースも大型パネルやポスター展示で準備OK！パンフレットやチラシ、JEXが若者向けにデザインしたおしゃれな蝶のパッケージのコンドームを配布！







グループSECのスタッフ大集合！



←若者たちに人気のクラブ系  
*reMONAIZATION* 演奏中♪

この音街かしわ野外ライブに出演していた柏のクラブジャズバンド *reMONAIZATION* の出演決定！柏の街で老舗のライブハウス STUDIO WUU の協力で  
グループSEC とのコラボ実現

11月1日(土)  
**RED RIBBON  
CONCERT**  
in Studio WUU

音街会場でも音楽ファンに  
チラシ撒き！

Come on, young people  
to the Red Ribbon  
concert on November 1 !







音街かしわ野外ライブ」のトリは  
☆☆☆柏出身の大物ミュージシャン、サンブラザ中野☆☆☆

朝から準備をして昼頃から盛り上がってきた大堀川公園も夕闇に包まれた…。  
たくさんの観客がいっしょに踊ったり、歌ったりしながら最後まで楽しんでた。

★今年で2年目の野外ライブ参加者は、去年より大分増えたようだ。  
パフォーマンス・ガーデンの催しもあったせいか、ファミリーの姿も多く見られた。  
スタンプ・ラリーの試みも効を奏して、グループSECのブースでは500人以上に  
配布物を手渡すことが出来たし、ライブ会場に繰り出し、若者たちにコンドームを手  
渡しながらフランクに語り合うチャンスも多かった。とにかく世界エイズデー・キャ  
ンペーンは街中のオープンなスペースでオープンな雰囲気アピールすること。誰もが  
大人になっていく過程で当然知ってる情報になること。

★パフォーマンス・ガーデンでは自然と各団体の交流が起きて、となりのブースでラ  
イブペインティングをしていたUBSLの芸大生たちが、コンドームのパッケージを  
モチーフにした油絵(p3の写真参照)を描き上げてくれた！この絵もポスターと一緒に  
早速、11月のStudio WUUの会場を飾った！

どんなに正しい情報があっても どんなに有益なものがあっても 必要な人に必要な時  
に手渡され、しかもお互いに語り合える関係性ができていなければ実行にはつながら  
ない。自分の気持ちを自由に表現できること。表現された相手の気持ちを受け止めること。  
ほら、ここにもアートとハートの関係性！

★今回はターゲットを若者に向けていたが、もっとファミリー向けの展示やパンフレッ  
トも企画して、より広範囲の人たちにHIVエイズのことを《未来の子どもたちを守る  
ために》という視点でも伝えられると 自分たちの大事な問題として受け止められるの  
ではないか。色々な角度から伝えること、語り合えることの必要性を感じた。



11月1日(土) エイズ文化フォーラム〔2〕 会場：Studio WUU

## JAZZ & TALK LIVE with RED RIBBON 2008

演奏：JAZZ combo(瀬戸郁寛、秋谷学、熊谷豪)

トーク：パトリック HIV/AIDS基礎講座：グループSEC



エイズ文化フォーラムの第二弾 JAZZ & TALK LIVEのオープニングは、Sax 瀬戸郁寛、Drums/Keyboard 秋谷学、Bass 熊谷豪の素敵なジャズ演奏。演奏の合間のMCでは、曲の紹介だけでなく瀬戸さんの体験談が語られる…「ぼくが高校の時とっても憧れてた女性がいる、その彼女にアメリカで出会ったが、暫くしてHIVに感染したらしいという風のたよりを耳にした…」





## パトリックのステージトーク

JAZZ演奏を堪能した後は愛称“パトちゃん”（クラブDJで日本大好きアメリカ人でゲイで PLWHA）のステージトーク。パトちゃんのすごいところは彼のポジティブ人生。たとえ愛する人からHIV感染したとしてもその事実を受け止め、生きることや愛することに怯まない…。

そして、こうして人々に語りかけることを通じて、伝え合うことや繋がり合うことの大切さ、本当の意味での“共生 Living Together”を身をもって示していることだ。

\*PLWHA : People Living with HIV/AIDS



パトリック「HIV持っていると分かった恋人と愛し合うのはリスクが大きいっていわれるけど、僕は愛する人とはこころもからだもひとつになりたいのね。後悔はしてないけど、検査結果がでるまでは生きた心地しなかった…。死ぬまでにやっておきたいことを全部ノートに書き出して、この20年間精一杯自分らしく生きてきたよ。」パトの実体験を通した言葉が心に迫る。





## HIV/エイズ 基礎講座

エイズ文化フォーラム第二弾としてスタジオWUUで行われたJAZZ & TALK LIVEのあとは、参加者全員でHIV/エイズの基礎講座を学び合った。大型パネルやグループSECのパフォーマンスで「HIVとは?」「エイズとは?」「感染経路は?」「症状や潜伏期間は?」「感染を防ぐには?」「検査が必要!」「世界や日本の現状は?」「ワクチンはまだ?」など具体的な知識を分かりやすく伝えるワークショップ。



### ☆パフォーマンスでアピール!☆

HIV(エイズウィルス)は免疫細胞にもぐりこむ…すぐには症状が出ない(潜伏期間は5~10年)。その間に愛する人を介してひそかに人から人へ感染する…そこが問題!!  
だからこそ、知識と検査とコンドームでのプロテクトが大事!



### 《検査情報》

★柏保健所では月初めに予約受付。その後決められた日に匿名で即日検査。11月30日は休日検査あり。  
★千葉県では、11月24日、29日の2日間世界エイズデー終日街頭検査





エイズ講座の最後は、学んだ知識をクイズでチェック！

正解者にはプレゼント！  
エイズフォーラム [2] の会場は和やかに盛り上がりました。

★Studio WUU のブログ(11/1 付)をぜひ見てくださいね！

【参加者感想】 ●ジャズとのコラボ、すごくいい！年代を越えて多くの人に参加出来る仕掛けづくりが楽しいですね。 ●おしゃれな感じで深刻なエイズの話も違和感なく聞けた。 ●楽しくためになった。こういう活動にはパワーが要ると思いますが、熱い思いが人を動かすのだと思った。 ●帕特さんの話は身近に起きてる、関係のないことではないのだと実感。子どもたちにしっかり伝えたい。 ●大都市では見かけたが、柏で初参加。地元で長く続くイベントになれば、尚良い！正しい情報をもっと若者に！

## 2月22日(土) ハウディ・モール リメイク ファッションショーの会場にて

この日はKJP参加団体のイトウセイホグループによる最終イベントということで、事務局や他団体もアピール参加。グループSECも最後のストップ・エイズ・キャンペーン！



地域活性化プラットフォーム事業「アートがつなぐまちづくり」かしわざimoto Project  
初めて飛び込んだ「まちづくり事業」のなかで様々なアートの手法を用いながら、波状的に行った「世界エイズデー・キャンペーン」7月からこの2月まで8ヶ月間に及ぶ長期のエイズ予防啓発活動。ハードルの高い、しかし現時点で伝えなければならない大事な情報を 伝えたい相手にどう伝えるか？ 手応えのある新たな挑戦でした！！





**Kashiwa Jimoto Project**